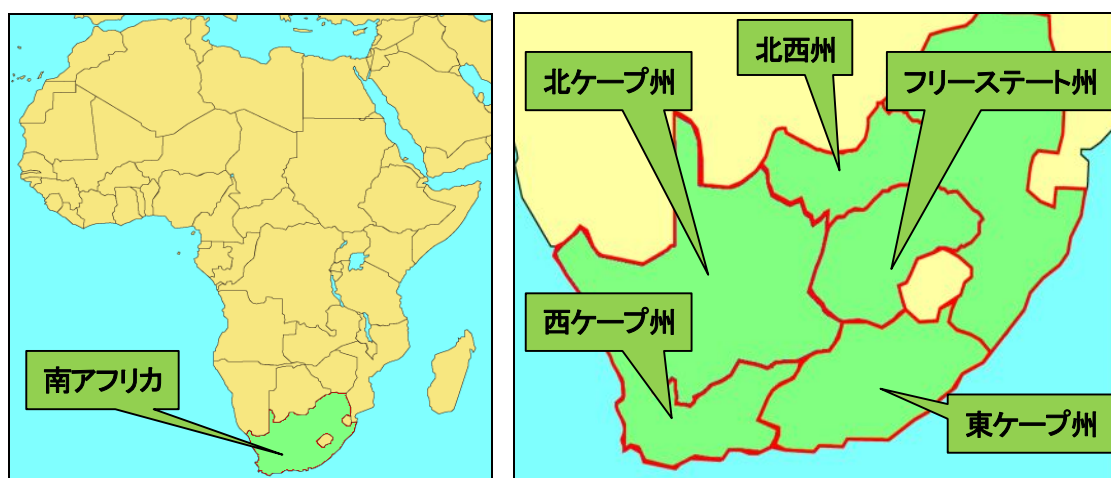


南アフリカでのリフトバレー熱発生状況(更新 2)

2010年5月12日 世界保健機関(Global Alert and Response)情報



5月10日現在、南アフリカ政府はフリーステート州、東ケープ州、北ケープ州、西ケープ州、北西州で、18名の死亡患者を含む186名のリフトバレー熱(RVF)患者が確定診断されたと報告しました。

リフトバレー熱は、第一に動物(牛、バッファロー、羊、ヤギ、ラクダなど)に感染するウイルス性の病気です。ヒトに感染することもあります。感染動物の血液や臓器との直接・間接的な接触が主な感染経路です。また、ヒトへの感染は感染蚊に刺されてもおこります。またヒトが、感染動物の加熱殺菌されていないミルクを摂取して感染する証拠もあります。

世界保健機関(WHO)は南アフリカの旅行制限をしていません。しかし、南アフリカへの旅行者が、特に農場や狩猟地域を訪れる予定がある場合は、動物の組織や血液に触らないように勧告しています。また、殺菌されていないミルクを飲むことや生肉を食べることもさけるように勧告しています。

旅行者は、蚊とその他の吸血昆虫から刺されないために適切な予防措置(昆虫忌避剤の使用、長袖のシャツと長ズボンを着用、睡眠時の蚊帳の使用など)をとらなければなりません。海外旅行の専門医や旅行医療サービス機関は、適切な助言と医学的処置を行うために、最近の南アフリカでのリフトバレー熱流行の状況を知っておく必要があります。